

平成29年度 障害当事者部会の活動について

◆実施状況

第3回（平成29年10月24日）…会議形式

障害当事者部会 広報誌の配布状況の報告について、文京総合福祉センター祭りの進捗状況及び内容検討について、委員からの発表「知的障害者と接して思ったこと」、今後の障害当事者部会の方向性について

◆内容

・障害当事者部会 広報誌の配布状況の報告について

行政、区内事業所等合わせて、合計1,553部配布済み。

当事者部会員より反響を知りたいと意見あり。

・文京総合福祉センター祭りの進捗状況及び内容検討について

当日の役割分担・事前に集まって準備をする日程を確認。

カルタは委員6名が持参し、10枚～15枚程度の少ない枚数で準備し、ブースにいらした方に体験していただく。車椅子の方用に長テーブルを設置する。テーブルは基幹のものを準備する。

カルタ以外の遊び道具として、視覚障害者用のオセロ、囲碁、トランプ、点字絵本なども当日持ってきていただく。白杖などの補助具も準備。委員が作成したDVDも上映する。来場者に、委員が直接手渡しでチラシ(100枚)を配布する。

学生ボランティアは東洋大に協力を依頼済み。希望者がいれば連絡が来ることになっている。

・委員からの発表 「知的障害者と接して思ったこと」

知的障害があっても一人の人間として尊重され、尊厳が守られ、温かい見守りのある社会、ひとに優しい社会であってほしい。障害者を切り捨てる社会は差別的であり、温かい社会とはいえない。健常者の援助や、歩み寄りによってその人らしく過ごせる社会になってほしい。

障害者が自分の意見を言える場所や、仲間を見つけられるようになることは必要であり、当事者部会の情報発信をしていく目的としても重なる。

障害者への理解を深める啓蒙活動や、差別解消、権利擁護といったテーマも今後広報していくことが望ましい。

・今後の障害当事者部会の方向性について

会議が多く、ゆっくりと交流することができなかった。今後は一般の方にも関心を持っていただけるように、当事者部会の周知活動を行っていききたい。ふれあいの集い 作品展などへ参加するのはどうか。会議だけでなく座談会等も実施し、交流を深めたい。病気になって障害者になるまで全く知らない世界であった。当事者部会に参加してみて、自身の障害を受け入れられるようになり、ほかの障害についても少しずつ理解できるようになってきた。ヘルプマークの使用状況、感想などの意見交換を行うのはどうか。

◆次回

第4回は座談会形式で、平成30年1月15日14:30から実施。